



六地藏開眼供養

善光寺の中庭にお祀りされている石佛。中心に「微笑み子安観音」を祀り、取り囲むように十四体のお地藏様がおられます。

善光寺開創以来、多くのご参詣者を見護り続けた六地藏様。永年の風雨に晒され、お参りの方に触れていただく中で段々と磨り減ってしまいました。

この度、鳥居石材店社長（当寺総代）・鳥居秀行様より前列に安置されている六体のお地藏様を新しくご寄贈頂き、去る平成二十四年五月二十八日、六地藏尊開眼法要が執り行われました。

また、境内の護り仏として不動明王さまの石仏も合わせてご寄贈頂きました。



導師は本寺光真寺副住職（当時）黒田泰弘師をお迎えし、紅白幕を掛け、緋毛氈を敷き、賑々しくお地藏様の数と同じ十四名の僧侶による法要となりました。新緑の風香る好時節、そこには新しい仏さまをお迎えして晴れやかな笑顔の住職と参列の方々の姿がありました。



▶住職より感謝状を受け取る鳥居秀行様（左）



不動明王大祭

引き続き恒例の身代り不動明王大祭。迫力のある転読大般若祈祷の後はこちらも恒例となりました東郷先生による「論語講座」。東郷先生のお話を楽しみに集まる方も多く、今年（平成二十五年）からは月に一度、善光寺講座として「論語からのお話」を開催しています。詳しくは92ページ〜95ページを参照して下さい。

